

熊とご隠居と のりこの辛口問答



のりこは市川房枝の門下生!!

熊さん 「ご隠居さん、のりこさんが

ずっと『無所属・市民派』を
通じてるのは何でだい?」

のりこ

「実は、のりこさんは、28年間
東京の『市川房枝記念会』で
勉強してきたのさ。」

熊さん

「市川房枝って、参議院全国
区で、トップ当選していた人
だよな。」

のりこ

「そつだよ。愛知県出身でね、
金権政治が大嫌い、是は是非は非を貫き、無所属を通
じた骨のある政治家さ。」

熊さん

「生まれて初めての選挙で私
が投票したのが、その市川さん
なの。私も、議員になったら
そついう姿勢を貫きたいと
思ってきたんです。」

PF-1の見直しは…

熊さん

「この市議選で当選したら、
のりこさんは何をしたいん
だい?」

のりこ

「まずは、現在休止状態になっ
てる『PF-1の見直し』を進
めるように、市長の尻を叩きた
いと思ってますよ。」

ご隠居

「尻を叩くくらいで、見直しが
進むかね。」

のりこ

「見直し支持の市民の声が多
ければ、市長も進めざるを得
なくなる。だから、この選挙で

熊さん

も市民の皆さんの強力な応援
が必要なんです。」

ご隠居

「見直しが進まない俺ら達
の金が業者に食いつぶされち
まうんだよなあ。」

熊さん

「市の財政も厳しくなる一方だ
よ。」

のりこ

「コロナ禍で税収も激減だろう。
だから、お金を、どこにどう
使うか、政策の優先順位がと
ても大切よね。のりこは教育
と福祉だと思ってる。」

熊さん

「だよなあ。市民病院もあるし。
PF-1見直しで、業者よりも
子どもや若い世代にお金を回
して、西尾の未来を明るくし
ましようよ。」

西尾の産廃問題…

のりこ

「産廃の建設予定地は、一色中
学校の直ぐ隣1500mの場所。
日本最大級の産業廃棄物埋
立処分場なんですよ。」

熊さん

「俺ら、一色だけの問題と思っ
てたけど、大間違いだなあ。
俺らのガキや孫の学校の隣
に、産廃処分場ができるとし
たら、どうするよオ!」

ご隠居

「南海トラフ地震が起きたら、
まともに津波や地盤の沈下を
食いつ場所だ。液状化現象も
起きるさ。」

熊さん

「廃棄物を積んだトラックが、

のりこ

「色だけでなく、市内を毎日
何百台と走り回る…。」

熊さん

「だけど、まだ間に合うわよ。
市民の反対の声が大きくなれ
ば、県知事も、建設の許可を
出しにくくなるんです。」

熊さん

「のりこさんが最初に手掛けた
のは、西尾駅東広場の遊具の
設置だったね。」

ご隠居

「今は、高齢者のデイサービス
の場が、あちこちに出来てき
たが、それ以前に託老所をつ
くる働きかけものりこさんと
仲間たちがやってきたね。」

熊さん

「市の『3袋が、使いやすい形
になったのも、のりこさんの
提案だろう?」

のりこ

「避難所に『ぼつとんトイレ』
をつくるとか、色々提案し
てきたけど、アイデアはまだ
まだありますよオ。」

選挙こそ、市民の意思表示だ!!

熊さん

「市長や議員にお任せじゃなく、
俺らたち市民がどう動かかが
『カギ』ってことだね。」

のりこ

「そつ。市民が意思を示せるの
は、4年に1回。選挙の時で
しょ。」